

## 第6回産研オールジェンダーサミットを開催しました。

2025年1月23日

今回は、産研の働きやすさを改善するための意見交換が行われました。DE&Iの観点を踏まえつつ、すべての人が働きやすい環境を実現するためのアイデアを共有する場として企画されました。

### 話し合われた内容

施設面では、トイレの清掃状況の改善や除菌シートの設置、非接触型の汚物入れの導入、個室の荷物置き場の設置が求められました。また、不審者対策として出入りの管理強化の必要性が指摘され、Web会議ができるリモートワークスペースの確保も要望されました。



行事に関しては、職員交流イベントの充実が求められ、夕方以降ではなく昼休みの時間帯にヨガ教室などの趣味イベントを開催する案が出ました。さらに、昼食を取りながら研究紹介を行うランチオンセミナーの実施についても検討されました。



人的交流の促進については、研究者と事務職員の間で予算に関するやり取りが対立的になりがちであるため、ティーパーティーのような気軽な交流の場を設けることで円滑な関係構築が期待されました。

勤務制度に関しては、特任事務職員の任期なし制度の活用や、任期なしを希望する職員の割合を集計する提案がありました。また、人材の流動性が高いため業務引き継ぎの負担が大きくなっていること、短時間の休暇取得が難しく半休を取らざるを得ない現状の改善が求められました。

その他の意見としては、研究室ごとの装置情報が分かりにくいため整理・公開を希望する声がありました。また、研究会よりも気軽な「お茶会」形式の交流が好ましいとの意見や、ランチ会のような小規模な研究室交流が有効であるとの声も上がりました。



今回のイベントでは、働きやすい環境づくりに関して多くの具体的な意見が寄せられました。今後、これらの意見を基に改善策を検討し、より良い職場環境の実現に向けて取り組んでいきます。